

## 平成25年度第2回府中市障害者計画推進協議会

### 会議録

■ 日 時：平成25年8月23日（金） 午後2時～午後3時

■ 場 所：府中市役所北庁舎3階第3会議室

■ 出席者：（敬称略）

#### <委 員>

高倉義憲、杉本豊和、下條輝雄、山本博美、崎尾義輔、石見龍也、真鍋美一、  
古寺久仁子、諸隈一成、鈴木政博、桑田智、藤巻良以、河井文、見ル野一太

#### <事務局>

福祉保健部：芦川部長、川田次長兼高齢者支援課長

障害者福祉課：松下課長、相馬課長補佐兼生活係長、大島給付係長、  
長岡精神保健担当主査、石井、布目

地域福祉推進課：宮崎課長補佐兼福祉計画担当副主幹、渡部、飯泉

生活構造研究所：尾羽沢、柏木

■ 傍聴者：4人

■ 議 事：1 前回会議録について（資料1）

2 進行管理一覧表について（資料2・3）

3 アンケート調査について

（1）調査対象者について（資料4）

（2）調査票（案）について（資料5・6）

4 グループインタビューの実施について（資料7）

5 次回日程について

6 その他

■ 資 料：資料1 平成25年度第1回府中市障害者計画推進協議会会議録（案）

資料2-1 障害者計画 進行管理一覧表（訂正版）

資料2-2 障害福祉計画（第3期） 進行管理一覧表（訂正版）

資料3 障害者計画の進行管理一覧表に関する事項について

資料4 身体障害者手帳所持者数の年齢別内訳についての検討

資料5-1 調査票（案） 調査1 障害のある人の調査

調査2 難病患者調査

調査3 障害者福祉団体調査

調査4 障害福祉サービス事業所調査

資料5-2 調査票（案）に関する意見まとめ

資料5-3 調査票（案）に関する意見まとめ（追加）

資料6 調査票依頼文（案）

資料7 グループインタビュー調査計画（案）

## 開 会

### ■事務局

本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。ただ今より、平成25年度第2回府中市障害者計画推進協議会を開会いたします。

議事に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

(※ 資料の確認)

続いて、本日の会議ご欠席の委員の方をご連絡いたします。野村委員、播磨委員、山口委員、荒畑委員からご欠席とのご連絡を受けております。

ここから会長に進行をお願いいたします。

### ■会 長

今日はお暑いところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。皆様方のご協力をいただき、本日の会議を進めていきたいと考えています。

それでは、会議の公開にあたり、傍聴希望者の方がいらっしゃいますので、入室していただきたいと思えます。事務局、お願いします。

(傍聴者、入室)

それでは、次第に従って議事を進めてまいります。

## 1 前回会議録について

### ■会 長

議事の1番、前回会議録について、事務局から説明をお願いいたします。

### ■事務局

それでは、資料1についてご説明いたします。

本協議会平成25年度第1回会議の会議録(案)でございます。内容は記載のとおりでございますので、ご承認いただきましたら所定の手続きのうえ、会議録の公開を予定しております。ご確認をよろしく願いいたします。

### ■会 長

お目通しをいただき、特にご意見等無ければ、ご了承ということで進めさせていただきたいと思えます。

何かご意見・ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。

(※ 発言なし)

本会議録については事務局に公開の手続きをお願いしたいと思います。

## 2 進行管理一覧表について

## ■会 長

議事の2番、「進行管理一覧表について」、事務局から説明をお願いします。

## ■事務局

それでは、まず、資料2-1、2-2についてご説明いたします。

こちらは前回会議にて協議していただいた、障害者計画及び障害福祉計画の進行管理一覧表（訂正版）でございます。いただいたご意見やご質問の内容を盛り込み、再度作成いたしました。修正内容や確認事項につきましては、資料3「障害者計画の進行管理一覧表に関する事項について」に詳細を記載しております。障害福祉計画の進行管理一覧表に関する修正点は、3ページの（5）地域生活支援事業、（1）相談支援事業の②市町村相談支援機能強化事業の進捗状況の修正のみでございます。ご確認をよろしく願いいたします。

## ■会 長

既に検討した資料ではございますが、改めて委員の皆様からご意見・ご質問等がありましたら承りたいと考えております。先ほど事務局から説明がありました通り、資料3が一覧となっております。対照しながら、ご確認いただければと思います。

## ■委 員

前日も議論になりましたが、各事業所によって件数の報告の仕方が異なっているようです。プラザだけが延べ人数のみを市に報告しており、件数の把握はしていないということですので、その旨が分かるように記載したほうがよいのではないのでしょうか。

## ■会 長

件数の把握は難しいでしょうか。

## ■副会長

そもそも「み～な」「あけぼの」と「プラザ」の委託の形態が何年か前から違っています。また、身体、知的ベースで相談を行っている「み～な」「あけぼの」と、精神ベースで相談を行っている「プラザ」では、カウントの方法が違っていました。報告自体は「み～な」も「あけぼの」も435表というもので、最終的に市に実人数も報告しています。それと併せて細かい中身の件数・人数も報告しています。どちらかという「み～な」「あけぼの」は、その細かいほうをずっと報告してきました。「プラザ」は435表に対応するカウントをずっと報告してきました。無理矢理合わせたというか、どっちも対応できるように3センターがやるようになったのをそのまま引き続きカウントしているということです。補足があればお願いします。

## ■委 員

今後3センターで合わせる必要があれば、統計の取り方を変えて、出るようなかたちにならんと数字としては出てきません。もし必要ということであれば、どのように出すか「プラザ」で検討する必要があります。

## ■会 長

だいたいの実情が皆様方もお分かりになったと思います。どこかで整合性が取れるとよいと思

います。法律改正がない限り、未来永劫続くことを前提に考えると、進行管理のたびに同じことが指摘されるので、障害福祉課も含めて、早い段階で調整をお願いしたいと思います。

ご指摘は、その旨が分かるように記載すべきではないかということでしたが、いかがいたしましょうか。会長、副会長、事務局で検討させていただくということによろしいでしょうか。

■委員

はい。

■会長

その他、何かご意見ありますでしょうか。

■委員

7ページ、73番について、資料3に障害者雇用連絡会議の開催回数について「年2回」に訂正するということになっていますが、修正されておられません。

■事務局

失礼いたしました。「年1回」を「年2回」に修正いたします。

■会長

その他にいかがでしょうか。

(※ 発言なし)

特にこれ以上無ければ、表記ミスは訂正を行い、ご指摘の箇所は宿題ということで整理をさせていただきますと思います。それでは、議事を進めていきたいと思います。

### 3 アンケート調査について

#### (1) 調査対象者について

■会長

議事の3番「アンケート調査について」でございます。事務局から説明をお願いします。

■事務局

それでは、資料4についてご説明いたします。

前回会議にて、調査対象者のうち身体障害者手帳所持者数の内訳について、事務局案として、全体より1,800人、0～17歳より100人、18～59歳より100人、合計2,000人と提示しておりましたが、年齢別のバランスを考慮し、全体より1,600人、0～17歳より200人、18～59歳より200人としてはどうかとのご意見をいただきました。この案について検討いたしましたところ、0～17歳を200人に変更しますと、身体障害者手帳を所持している0～17歳の方ほぼ全員が調査対象となり、100人を抽出した場合の61.6%に比べ、ほぼ100%の抽出率となることが分かりました。他のサンプル抽出率に比べ大きな差が出てしまうことから、新しい事務局案といたしまして、0～17歳は100人のままとし、18～

59歳より200人、全体より1,700人、合計2,000人を抽出するという案を提示いたします。本案にて調査を行った場合の調査対象想定人数は、資料4の表に記載のとおりとなり、有効な調査が行えるものと考えます。

また、前回会議にて、手帳は持っていないが自立支援医療を受けているという方の調査を行うてはどうかというご意見をいただきましたが、自立支援医療の担当によりますと、手帳は持ちたくないというお考えの方が多く、「障害者」と名のつくアンケートの送付は情動的に難しいと考えられますので、今回調査では対象に含めないと考えております。併せてご協議お願いいたします。

#### ■会 長

2つ論点がありました。1番目は調査対象者の数の変更です。事務局から説明がありましたが、いかがでしょうか。

(※ 発言なし)

特にご意見等無いようであれば、新しく事務局から提案された人数内訳で本会議では了承ということで進めさせていただきます。

2番目の手帳所持をしていない人の取扱いについて、事務局から諸般の事情があるという説明がありましたが、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。

#### ■委 員

持っていない人は、あえて手帳を取りたくないからという話ですか。

#### ■事務局

そうです。

#### ■委 員

いいのではないのでしょうか。

#### ■会 長

その他いかがでしょうか。特に無いようでしたら、事務局の提案通り、手帳を所持していない方についてはアンケート調査の対象にしないということで進めさせていただきます。

## (2) 調査票 (案) について

#### ■会 長

続いて、「(2) 調査票 (案) について」、事務局から説明をお願いします。

#### ■事務局

まず、前回会議にて配布いたしました調査票 (案) に関するご意見、皆さまありがとうございました。いただいたご意見を元に調査票 (新案) を作成いたしました。資料5-1をご覧ください。

各調査票の中で網掛けになっている部分が、変更部分でございます。なお、調査3の障害者福

祉団体調査につきましては、変更点がございません。

変更内容やいただいたご意見のお取り扱いにつきましては、資料5-2をご覧ください。各ご意見について事務局にて検討した内容を記載しております。ご確認のうえ、委員の皆さまにはあらためてご協議をお願いいたします。

また、追加でいただいたご意見がございますので、そちらに関しましては、本日、別紙資料5-3を配布しております。記載のとおり取り扱ってよろしければ、次回会議までに再度調査票を修正いたしますので、併せてご協議をお願いいたします。

続きまして、資料6をご覧ください。こちらは調査票の依頼文(案)でございます。表面の網掛け部分は各調査に応じて記載内容を変更する部分でございます。また、前回会議にて、調査票送付時に本調査の目的や活用方法等を示してほしいとのご意見をいただきましたので、事務局にて検討いたしまして、依頼文の裏面に次期計画策定までのスケジュールと現計画の公開状況を記載しております。府中市福祉計画に関わる地域福祉分野や高齢者分野との調整もございましたので、今後修正が入る可能性がございますが、現在の案としてお示しいたします。ご意見いただきますようお願いいたします。

#### ■会 長

事前に送付を受けた調査票については、8月9日までに提出された意見を反映したものとなっております。資料5-3は、その後、追加で提出されて意見であり、まだ調査票には反映されていません。少しお時間を取りたいと思います。特に追加分は本日配布の資料ですので、ご検討いただければと思います。

#### ■委 員

資料6の裏面について、それぞれホームページから行き方が書いてありますが、合っていますでしょうか。最後の「府中市福祉計画」と「府中市障害者計画」は逆ではないでしょうか。

#### ■事務局

こちらが正しいものとなります。「府中市福祉計画」という上位計画のページの中に、「府中市障害者計画」も掲載されています。「府中市障害福祉計画(第3期)」は別に策定されておりますので、「府中市障害者計画」のページから飛べるようになっています。

#### ■会 長

分かりにくいですね。

#### ■委 員

「障害者計画」のところに「障害者計画」が無いのは分かりにくいです。

#### ■会 長

全体のシステムに関わるので、他の部局とも調整があると思います。宿題にさせていただければと思います。

先にかがみ文の話になってしまいましたが、戻らせていただいて、調査票についてのご意見・ご質問を承りたいと思います。

## ■委員

資料5-3の追加意見で、5ページの間5について「児童に関するサービスについて、別枠を設ける」ということになっています。このようなかたちで児童を入れていただけると良いと思います。前回協議会で質問させていただき、発達支援関係が抜けてしまうということがあったので、児童に関するサービスについて別枠を設けるということをぜひお願いしたいと思います。

## ■委員

前回協議会で、難病の調査票の中に住宅に関する質問がまったくないという指摘がありました。それに対する回答は資料5-2の中に無いように思います。質問事項を減らすために削除しているかもしれませんが、障害のある人の調査票と比較すると、特別質問が増えるという印象もないので、省いた理由に明確なものがあれば伺いたいと思います。

## ■事務局

前回調査との経年変化を見る中で、前回調査には無かったので入れていないということが主な理由です。追加したほうがよいというご意見があれば、追加することは可能です。

## ■委員

計画が続いていく限り、何年かごとにアンケートは実施されていくと思います。ここで入れないということになると、未来永劫、難病の方に対しては住まいに関する質問が入らないということになってしまいます。できれば本協議会の委員で追加すべきか確認できればと思います。

## ■会長

難病の方向けの調査に、住居に関する質問を入れるべきか確認してほしいという依頼がありました。いかがでしょうか。事務局からは、「入れることはやぶさかではない」というご回答をいただきました。

## ■事務局

難病の方は健常の方と同じような生活を送ることができる方が多いので、住宅の設間を入れることによって逆に混乱させてしまうことも考えられるという理由で、これまでは抜いていたということです。また、難病の方に市の制度でできることがあるかという、日常生活用具や補装具は該当にはなっていますが、かなり限定されています。住宅に関する制度があるかという、無いというのが現状です。

## ■委員

例えば、筋ジストロフィーでは車いすを利用している方もいます。そうすると、住宅改修が必要になります。医療が発達して、難病の方も一人家で過ごされている方もいると思います。質問を独立して追加することが難しいのであれば、充実すべき施策についてたずねている間で住宅に関する選択肢を追加することも考えられます。

## ■会長

省いた理由も分かりましたが、追加してもよいということです。その他にいかがでしょうか。

## ■委員

施策の方向性として、難病の方も総合支援法の中に含まれたということで、将来的には本アンケートは難病と障害のある人が一緒になっていくべきものだと思います。先のことを考えてほしいと思います。

■委員

実際に困っているという声があるのであれば聞いたほうがよいと思います。1ページ増やしても大きな問題にはならないと思います。また、難病の方には福祉施設への入所希望をたずねる質問も無いです。実際に難病の方が福祉施設に入りたいか定かではないのですが、調査項目としては入れておいたほうがよいと思います。

■会長

毎回、宿題扱いにさせていただくのは甚だ心が痛むのですが、前向きな方向で預らせていただきます。

■委員

障害のある人への調査の10ページの間14の選択肢の4番は「病気のある友人」となっていますが、障害のある仲間を指しているのではないのでしょうか。

■会長

ご指摘の通りだと思います。病気にこだわる必要が無ければ、「障害」の方が適切だと思います。

■事務局

ご指摘の通り、修正いたします。

■会長

難病のほうに同様の質問があり、「難病の友人」になっています。

■委員

精神障害のある人についても手帳所持者に送付するのですか。

■会長

そうです。難病の方は手帳がないので、受給証をお持ちの方ですね。

■事務局

難病の方は指定疾病手当を受給していますので、その方から抽出してお送りいたします。

■会長

それでは、かがみ文のほうに話を移したいと思います。先ほどのご指摘はホームページの表記が分かりにくいということでした。これは事務局で持ち帰って管轄部局との調整のうえ検討してみるというお答えをいただきました。それ以外に資料6のかがみ文について、委員の皆様からご質問・ご指摘はありますでしょうか。

難病の方についても、かがみ文はつくのですか。

■事務局

資料6は障害のある人の調査のかがみ文です。難病の方への調査にもかがみ文はつけます。ま

た、資料6について一部訂正させていただきたいのですが、表面の文章で「平成20年度に策定を予定しております」となっていますが、「平成27年度」に訂正をお願いいたします。

■委員

「障害者計画」と「障害福祉計画」はややこしくて、私自身も理解するのに時間がかかりました。普段、計画に接していない方にとっては、まったく区別のつかないものなので、説明を入れたほうが良いのではないのでしょうか。2つの計画は性質が違うので、必要はないかもしれないのですが、知らせる手立てはないのでしょうか。

■会長

分かりにくいですね。分かっている人たちでは、根拠法が違う、中身も違うということで理解できるのですが、一般の方たちには理解できないということはもっともなご指摘だと思います。地域福祉計画等とも絡んでくるので、文言等は事務局で検討してください。

■事務局

分かりました。

■会長

一般の方が見て、このような計画の障害者版ということが分かるようになればよいと考えています。これも宿題にさせていただきます。

■副会長

資料6の裏面はフリガナをふりますよね。

■事務局

ホームページのアドレス等以外の一般的なところはふります。

■委員

資料6の表面の「記入についてのお願い」は見にくいので、もう少し大きな文字にしてほしいです。

■会長

これも宿題ですね。

その他、特に無いようでしたら、この議題はここまでさせていただきます。

(※ 発言なし)

#### 4 グループインタビューの実施について

■会長

続いて、議事の4番「グループインタビューの実施について」、事務局から説明をお願いします。

■事務局

資料7をご覧ください。こちらはグループインタビュー調査の実施案でございます。

手帳所持者が対象となるアンケート調査では実態が把握できない発達障害及び高次脳機能障害の方について、それぞれグループインタビューを実施したいと考えております。各障害の支援団体や施設の方にお集まりいただき、事務局及び生活構造研究所がインタビュアーとなり、困っていることや必要なことについてお話いただく予定です。つきましては、委員の皆さまにもご協力いただくことがあるかと存じますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

■会 長

今回はじめてグループインタビューの具体的な調査計画案が示されました。ぜひ、委員の皆様からご提言・ご意見がありましたら頂戴したいと思います。

私から事務局に質問です。グループインタビューは委託業者の方をお願いをするということでしたが、府中市の職員の関わりは何か考えているのでしょうか。

■事務局

コンサルの方と事務局の職員が合同で対応することを考えています。

■会 長

よろしくお願いしたいと思います。その他いかがでしょうか。

■委 員

実際に支援団体、支援施設は市内にどの程度の数があるのでしょうか。

■事務局

発達障害については、施設1箇所、団体1箇所を把握しています。高次脳機能障害については、あけぼの福祉会の「地域生活支援センターあけぼの」にお願いしたいと考えています。

■委 員

それぞれ1箇所ずつということですか。

■事務局

発達障害については2箇所です。1つの施設と1つの団体です。高次脳機能障害については、市内には「地域生活支援センターあけぼの」しかないので、お願いしたいと思っています。

■委 員

グループインタビューは対象者が何人か集まって、お互いに意見交換等をするイメージでした。一対一のインタビューとなると、単に施設とか団体に聞き取り調査をするというように考えたほうがいいのでしょうか。

■事務局

当初はグループインタビューということで、発達障害と高次脳機能障害のグループを同時に実施しようと考えていました。しかし、それぞれ聞く内容も異なってくるので、分けたほうがよいだろうと考え、予算的な面も考慮しながら分けさせていただきました。委員がおっしゃる通り、基本的には一対一でお話を伺うことになると思います。

■委 員

高次脳機能障害については、「地域生活支援センターあけぼの」だけでなく、ひばり福祉会の

「集いの家」でも受け入れています。また、支援施設だけでなく、当事者の家族等も加わったほうが実態は明らかになると思います。

■副会長

どの程度の数のグループインタビューを実施すると、調査として優位性があるのかは分かりませんが、グループインタビューを実施するのであれば、例えば「スクラム作業所」等のひばり福祉会関係も含めたほうがよいですし、可能であれば通所されている方、その家族も加わったほうが、当事者の声が反映されてよいと思います。

■事務局

グループインタビューの目的・趣旨としては、ひとつのテーマについて関係する方々が集まっていただいて、グループの中で議論していただくということがあります。関係する部署が1～2箇所しかないということで、私どもでは聞き取り調査のような形態を考えていましたが、各委員の皆様から貴重なご意見をいただきましたので、できる限り関係者の方に集まってグループになっていただいて、インタビューをするという方向で実施させていただく方向で検討します。

■会 長

今の事務局の回答でよろしいですか。

■副会長・委員

はい。

■会 長

グループインタビューはアンケート調査と並行で実施するということですね。

■事務局

調査時期は10月下旬から11月上旬を予定しています。郵送で実施するアンケート調査と同じ時期に実施したいと考えています。

■会 長

特にこの議題について、その他ご意見が無いようであれば5番目の議題に進んでいきたいと思っています。よろしいでしょうか。

(※ 発言なし)

## 5 次回日程について

■会 長

議事の5番「次回日程について」事務局から説明をお願いします。

■事務局

次回、第3回会議は事前に送付いたしました開催通知のとおり、9月13日（金）に開催いたします。午後2時から、会場は同じく市役所第3会議室でございます。再度の通知はいたしませんので、ご了承ください。

委員の皆さま、ご多忙のところとは存じますが、次期計画の策定に向け、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

■会 長

今回は既に通知を受けていましたが、9月13日ということになっています。ご都合の悪い方がいましたら、早めに事務局にご連絡いただきたいと思います。

## 6 その他

■会 長

では最後に、事務局から事務連絡等ありましたら、お願いしたいと思います。

■事務局

今後のスケジュールについて、事務局にて、本日委員の皆さまからいただいたご意見やご質問を盛り込んだ調査票の新案を作成いたします。次回会議では、その新案についてご確認いただき、調査票を確定する予定でございます。つきましては、委員の皆さまから十分にご意見をいただける最後の機会となりますので、本会議終了後にさらなるご意見等ございましたら、随時事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、次回会議まであまり時間がございませんので、お忙しいところ恐れ入りますが、8月30日（金）までのご提出をお願いいたします。

■会 長

本日の資料についてご意見・ご要望・ご提案がありましたら、今月30日までに障害者福祉課にご連絡をいただきたいと思いますということです。本日は皆様からのご協力をいただき、かなり早めに終了することができました。これをもちまして、第2回の協議会を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

以上